

平成28年度の予算の執行状況と 財政状況をお知らせします

★予算の執行状況

(単位：千円)

会 計	予算現額	収入済額	収入割合(%)	支出済額	支出割合(%)
一 般 会 計	6,783,376	5,255,227	77.5	4,340,700	64.0
国民健康保険特別会計	1,084,337	1,000,721	92.3	958,518	88.4
次 年 子 簡 易 水 道 特 別 会 計	12,890	12,722	98.7	12,168	94.4
学 校 給 食 事 業 特 別 会 計	89,222	83,104	93.1	82,788	92.8
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	97,881	93,970	96.0	93,157	95.2
介 護 保 険 特 別 会 計	925,051	814,645	88.1	813,179	87.9
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	86,327	103,318	119.7	84,677	98.1

★財産の現在高

区 分	数 量	
土 地	1,048,677㎡	
建 物	54,845㎡	
有 価 証 券	5,110千円	
出 資 に よ る 権 利	57,746千円	
債 権	481千円	
基 金	1,824,574千円	
内 訳	財 政 調 整 基 金	717,309千円
	減 債 基 金	51,020千円
	土 地 開 発 基 金 (現 金)	133,861千円
	そ の 他 の 基 金	922,384千円

★町債(借入金)の現在高

会 計	金 額	構成比(%)
一 般 会 計	5,696,202	92.1
次 年 子 簡 易 水 道 特 別 会 計	30,502	0.5
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	463,239	7.5
一 時 借 入 金	0	0.0
合 計	6,189,943	100.0

※数値は、土地と建物は平成29年3月31日現在(土地と建物は速報値)のものです。最終的な決算額は、出納整理期間(決算処理を整理するための期間)を経て、決算書により確定することになります。
※単位未満の数値は、四捨五入により端数処理しています。

■役場総務課 財政グループ ☎35-2111(内線214・215)

◎駒籠地区流雪溝取水量の確保について

⇒ 駒籠地区では県道に流雪溝が整備されていますが、最上川からの取水量の確保が不十分であり、家屋密集地における町道では流雪溝が未整備であるため、除排雪に苦慮しています。県道及び町道流雪溝整備に必要な取水量の確保に向けて要望します。

◎河川における水利使用の条件緩和について

⇒ 市街地でも2mを超える積雪を記録する豪雪地帯である当町では、冬期間の町民の生活と、経済活動を守るための交通の確保に非常に苦慮しています。国土交通省直轄の消流雪用水導入事業の新規採択は今後行われないこととなり、さらに住民の冬期間の安全確保が遠のいてしまいました。流雪溝整備においては、市街地を流れる中小河川に消流雪用水を供給するために、一級河川最上川からの取水による安定した水源の確保が最も重要ですので、国管理河川における水利使用の条件緩和を要望します。

◎地方道(県道)の整備について

⇒ 主要幹線となっている県道の改良・整備を要望します。

路 線 名	事 業 箇 所	事 業 内 容
主要地方道大石田畑線	豊田地内	道路改良
主要地方道大石田畑線	大浦地内	視距改良
主要地方道新庄次 年 子 村 山 線	次 年 子 地 内	道路改良
一般県道大石田名木沢線	鷹巣地内	防雪柵整備
一般県道村山大石田線	小菅地内	防雪柵整備
主要地方道大石田畑線	豊田地内	流雪溝整備
主要地方道大石田畑線	大浦地内	流雪溝整備
一般県道尾花沢大石田線	本町地内	交差点改良

生活安全関係の要望

◎最上川排水樋管内水処理のための排水ポンプ車の増強について

⇒ 集中豪雨による内水の洪水・氾濫等により、家屋に甚大な被害が発生する恐れがあり、内水処理事業の促進が緊急不可欠です。特に、横山第二排水樋管(通称：金川)は、横山地区の内水が集中し、一気に増水する箇所であるため、排水ポンプ車の増強を要望します。

農林関係の要望

◎山腹崩壊危険地区監視の強化について

⇒ 大石田町は、豪雪地帯であることに加え丘陵地帯が多く、融雪期や豪雨時には土砂災害が度々発生し、土木施設への被害のほか、人命にも危険を及ぼしています。
大浦地区は再三にわたり土石流や法面崩落が発生し、時には通勤や農作業に大きな影響を及ぼしています。土砂災害を未然に防止するため、山腹崩壊危険地区の監視を重点的に行うよう要望します。

◎横山第一地区農地整備事業(経営体育成型)の早期完了について

⇒ 横山第一地区は農地整備から35年が経過しており、用排水路の不同沈下、老朽化により施設の維持管理に大変苦慮しています。平成24～31年度の事業期間で行っている用排水路・暗渠排水工の整備、農地利用集積などの事業進捗率は、平成28年度時点で約40%であり、事業期間内に完了するのか担い手農家が懸念を抱いています。これまで進まなかった農地集積及び集約を促進していくため、引き続き農業農村整備の事業推進について要望します。

保健関係の要望

◎北村山公立病院組合への財政支援について

⇒ 地域医療を取り巻く状況は医師の地域偏在に加え、看護師や助産師の確保も厳しい状況が続いていることなどにより、一層厳しさを増しています。県立病院のない北村山地域において、住民が安心して住み続けるため重要な役割を果たす北村山公立病院に対する財政面の支援を要望します。